

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

事業名	内容・実績	決算額 (千円)	決算額の財源内訳(千円)			事業の成果
			新型コロナ 臨時交付金	その他の特定財源	一般財源	
1 電動アシスト付自転車購入事業	◇高齢者が密をさけるための移動手段として、試用貸出しのための電動アシスト付自転車の購入(4台)	596	596	0	0	電動アシスト付自転車を購入し、貸出事業を実施したことで、高齢者の新たな移動手段として、前年度と比べて利用が大幅に増加した。
2 コミュニティセンター感染防止対策事業	◇感染症対策消耗品(手指消毒液等)購入費	997	997	0	0	アルコール職毒液を購入したことで、手指消毒や管内の物品等を消毒することができ、来館者や職員間の感染を防ぐことができた。
3 感染拡大防止資機材整備事業	◇停電時に発電機から電源を取るための配電盤(エレクピース)の工事費用 施工箇所:浅羽北、三川、浅羽西、笠原こども園 計4か所 ◇エレクピース用発電機5台分	10,574	7,698	2,876	0	避難所施設にエレクピースを整備することで、災害の発生により停電した際に、暖房器具、送風機等の感染予防資機材を稼働させるための非常用電源として確実に効果が見込まれることで、コロナ感染拡大防止対策につながった。
4 抗原定性検査キット整備事業	◇抗原定性検査キットを購入備蓄し、店舗や事業所、市公共施設等において、感染者が確認された場合に、迅速に濃厚接触者に該当しない従業員や職員の抗原検査ができる体制を整える。	11,002	10,823	179	0	抗原定性検査キットを購入し、希望する対象者へキットを配布し感染拡大防止に繋がった。
5 庁舎窓口感染防止対策事業	◇マイナバーカードの交付増加に伴う、窓口の混雑を緩和するため、交付端末(本庁2台、支所1台)を購入し、窓口を拡充する。	887	887	0	0	交付端末の増設により、窓口混雑が緩和され、感染防止対策を推進するとともに市民サービスの向上につなげることができた。
6 スポーツ施設環境改善事業	◇学校体育施設用消毒用品購入費 ◇学校運動施設(16校)、スポーツ施設(11施設)への予約システムの導入 ◇浅羽北多目的運動広場のベンチ修繕 ◇風見の丘の吸気式冷凍機、熱交換制御装置修繕、薬注ポンプ、ろ過ポンプ修繕 ◇袋井体育センター、浅羽体育センター、風見の丘、袋井B&Gの蛇口(42カ所)の自動水栓化	23,918	19,384	0	4,534	安全な施設運営及びコロナ禍においても利用を継続していくため、市内公共スポーツ施設及び学校体育施設への感染症拡大防止資機材の配布及び空調設備や自動水栓化等の感染症対策の修繕を実施し、施設の環境改善を図った。また、人との接触機会低減のため、公共スポーツ施設及び学校体育施設に予約システムを導入した。
7 シルバーワークプラザ環境改善事業	◇シルバーワークプラザ空調修繕 2階会議室空調設備修繕(2,035千円)	2,035	2,035	0	0	高齢者を中心に利用頻度が高い施設であり、感染対策に加え、夏場の体調管理のため、換気をしながら部屋の適温に努めることが必要であったことから、環境整備を行い、施設内の感染防止対策につながった。
8 サンライフ袋井環境改善事業	◇サンライフ袋井洗面蛇口(5カ所)の自動水栓化 トイレ手洗場自動水栓化修繕(370千円)	370	370	0	0	施設内における新型コロナウイルス感染症の感染機会の削減を目的に施設内トイレ手洗場の蛇口を非接触型のものに更新修繕し、施設内の感染防止対策につながった。
9 ふくろいすまいの相談センター環境改善事業	◇ふくろいすまいの相談センター空調の整備	358	350	0	8	換気機能付きエアコンを設置することで、施設内の新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、利用者が安心して施設利用ができる環境整備を行った。
10 成人式開催事業	◇式典会場の分散(4会場)と式典のライブ配信(アーカイブ配信あり)に係る会場設営委託料	1,870	1,215	0	655	会場を1カ所から4カ所に分散して開催したことで、会場内外の密を防ぐことができた。また、新型コロナウイルスへの感染を避けるため出席しなかった新成人や恩師、保護者等の関係者へも式典の様子を動画で届けることができた。
11 小学校教育環境改善事業	◇感染症対策用消耗品(手指消毒液等)購入費、オンライン研修用備品購入費	13,518	6,759	6,759	0	小学校において、消毒液等の保健衛生用品や、教室内の空気循環を促すためのサーキュレーター、密集空間を検知するための二酸化炭素濃度測定器等を購入し、感染症対策を強化した。
12 中学校教育環境改善事業	◇感染症対策用消耗品(手指消毒液等)購入費、オンライン研修用備品購入費	5,818	2,909	2,909	0	中学校において、消毒液等の保健衛生用品や、教室内の空気循環を促すためのサーキュレーター、密集空間を検知するための二酸化炭素濃度測定器等を購入し、感染症対策を強化した。

事業名	内容・実績	決算額 (千円)	決算額の財源内訳(千円)			事業の成果
			新型コロナ 臨時交付金	その他の特定財源	一般財源	
13 幼稚園環境改善事業	◇感染症対策用消耗品(手指消毒液等)購入費(5,498千円) ◇浅羽南幼稚園総合遊具更新工事費(10,890千円)	16,388	13,672	2,716	0	公立幼稚園において、消毒液や分散保育用物品等を購入するとともに、保育室が密とならないよう屋外用の複合遊具を設置して遊ぶ環境を増やすなど、感染予防対策につなげた。
14 育ちの森環境改善事業	◇感染症対策用消耗品(手指消毒液等)購入費 施設内消毒作業用アルコール、加湿空気清浄機、非接触式温度計など(499千円)	499	499	0	0	定期的に施設内の消毒や室内換気等を行うことで感染防止対策に繋がった
15 図書館環境改善事業	◇感染症対策用消耗品(手指消毒液等)購入費	1,200	1,199	0	1	① 手指消毒液や館内消毒作業に必要な消耗品を配備することにより、職員及び来館者への手指消毒を徹底することができ、検温の習慣化や検温機会が増え、感染防止対策に繋がった。 ② 感染防止対策を徹底することができ、コロナ禍においても以前の業務に近づけて行うことができた。
16 日本語教室開催事業	◇新しい生活様式の理解促進のための外国人の日本語力を向上させる教室の開催委託	2,700	2,700	0	0	日本語教室の参加者(在住外国人)に向けてコロナウイルス関連情報を伝える機会とすることができた。
17 袋井市経営持続特別支援金	令和3年8月に発出された「まん延防止等重点措置」及び「緊急事態措置」に伴う、飲食店等への休業・時短要請及び不要不急の外出自粛等の影響を受けた市内中小企業等の事業継続を支援するため、売上が減少した中小企業等に対し支援金の交付を行う。 ◇対象者 市内に本店または事業所のある中小法人・個人事業者(※1) (※1)静岡県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金の支給対象となっている飲食店事業者、静岡県中小企業者応援金「酒類事業者枠」の支給対象となっている事業者は除く。 ◇対象要件 飲食店等への休業・時短要請または、外出自粛等の影響を受けていること ◇売上要件 令和3年の対象月(8月・9月)の売上が、令和元年または令和2年の対象月(8月・9月)の売上と比較して30%以上減少していること ◇給付実績 465件 70,298千円	70,858	70,858	0	0	令和3年の対象月(8月・9月)の売上が、令和元年または、令和2年の対象月の売上と比較して30%以上減少した中小法人・個人事業者から延べ465件の申請があり、総額7,000万円余の支援金を交付し、事業者の事業継続につながった。
18 地域資源プロモーション事業	◇本市の地域資源を題材とした絵本を作成し、全国の図書館へ配布を行うことで、本市地域資源のプロモーションを図る。 ◇本市の特産品等の魅力を発信するコンテンツ(電子雑誌、動画等)を制作し、電子メディアやサイネージなどで発信する。 ◇ふくろいまるわかりブック(シティプロモーション用冊子)の作成	22,779	4,729	0	18,050	対面での活動が制約される中、クラウンメロンを題材にした絵本をはじめ、本市の特産物や主要観光施設などを盛り込んだ動画・冊子等の作成により、市の魅力を市外・県外の方に広く周知することで、商品等の購買意欲や地域への来訪意欲を高め、地域経済の活性化とともに、移住・定住促進、さらにはふるさと納税などを含めた関係人口の拡大につなげた。
19 地域経済循環分析事業	◇R E S A S や統計データなどを活用して地域経済の構造を把握し、地域の稼ぐチカラを高める政策の方向性を確認する。 ◇令和3年11月に市議会議員や商工団体等の関係者らが参加する政策勉強会に経済分析を専門とする講師を招き、令和2年度に実施した地域経済循環分析(生産・分配・支出)の調査結果について共有した。	492	248	0	244	「地域経済の実態(所得の循環構造)最新版:2015年データ」について情報共有を図ることで、コロナ禍における影響や対策など地域経済の活性化に資する政策立案のほか、民間事業者らの経営戦略に役立てる機会を提供した。
20 中小企業就職情報サイト整備事業	◇市内中小企業の企業紹介をまとめたHPを作成し、学生の企業選択の機会を増加させ、市内企業への就職を促進する。 掲載企業 19社 アクセス件数 4,248件	1,999	1,999	0	0	新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点からも、サイトを通じて地元企業の魅力を発信し、人材不足の解消を目指すとともに、学生自らが学生の目線で企業を検索し自身の価値観に近い地元企業と出会うことを目的に就職情報サイト「ふくろいdeあつまろう」を開設した。
21 経営力強化推進アドバイザー設置事業	◇市内中小企業の経営革新支援体制を強化するため、袋井商工会議所に経営力推進強化アドバイザー(R2までは県でものづくり支援員を配置)を配置するための事業費を補助する。 実施期間 令和3年10月～12月 補助金額 1,324千円 相談者数 104人	1,324	1,324	0	0	袋井商工会議所及び浅羽町商工会に経営力強化推進アドバイザーを設置し、コロナ禍における市内事業者からの経営相談や国の支援金等の申請サポートを実施した。

事業名	内容・実績	決算額 (千円)	決算額の財源内訳(千円)			事業の成果
			新型コロナ 臨時交付金	その他の特定財源	一般財源	
22 創業支援事業	<p>◇創業に関する相談会や創業塾の開催、創業者のフォローアップやコロナ禍における経営立て直し・経営力向上のためのセミナーの開催</p> <p>○創業相談会・専門相談員を招いて創業に関する相談会を開催 令和3年6月～令和4年3月(月1回、水・土・日のいずれか)全10回…12人</p> <p>○創業・経営セミナー・創業の機運を醸成するとともに、創業者の体験談から創業に関する理解を深めるセミナーを開催 令和3年9月…14人(オンライン開催)、令和4年3月…7人(リアル開催)</p> <p>○事業者向け(経営セミナー):新型コロナウイルス感染症による経済情勢の変化に対応するための経営改善策や各種補助金についての理解を深めるためのセミナーを開催 令和3年6月・7月・11月(10日・24日)に全4回…18人</p> <p>○創業塾:経営や財務、人材育成、販路開拓の創業に必要な知識を総合的に学ぶ講座を開催 令和3年10月～12月 全6回…7人</p>	1,014	1,014	0	0	コロナ禍において、産業の新陳代謝を図り、感染症に対応した事業を創出したり、既存事業を継続したりする事業者を支援することができた。
23 個店魅力アップ事業	<p>◇小学生のお仕事体験の実施 参加児童 17人、参加店舗 6店</p> <p>◇個店めぐりスタンプラリーをスマホを使ったデジタル版での実施 参加者 1,006人、参加店舗 91店舗、景品応募者 延べ307人</p>	4,262	4,261	0	1	<p>①コロナ禍において、学校や社会活動が制限されている中でも、子ども達が成長する機会を提供するとともに、新しい生活様式の中で、これまでと異なった仕事の一面を垣間見ることができ、将来のキャリア選択につながる貴重な機会となった。</p> <p>また、体験した店の情報や魅力をまとめたポスターを発信することで、集客に苦しむ個店の集客につながった。</p> <p>②応募者アンケートの結果、約6割がこの事業を通して行ったことのない店舗へ来店するきっかけになったとの回答であった。</p>
24 「稼ぐ観光」推進事業	<p>◇観光PR素材(写真等)の撮影業務委託</p> <p>◇夜の賑わいづくり創出事業(遠州三山ライトアップ・袋井駅周辺ライトアップ等)補助金</p> <p>◇ふくろい観光ルネサンス事業(遠州三山風鈴まつり・可睡齋ひなまつり等)負担金など</p> <p>観光交流客数 3,319,612人</p>	12,937	12,937	0	0	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の観光交流客数は2,403,127人とコロナ前の令和元年度の観光交流客数の4,783,683人の約50%に減少したが、事業の実施により令和3年度は3,319,612人とコロナ前の約70%まで回復した。
25 農業振興対策事業	<p>◇農業経営の担い手育成を目指し、専門家による経営講座及び販売実践など実務を交えた農業経営塾を開催</p> <p>◇茶業支援対策事業費補助金 ◇農業振興推進事業費補助金</p> <p>◇6次産業化促進事業費補助金</p>	14,603	14,603	0	0	<p>農業者の経営力向上と、コロナ禍における新たなマーケティング戦略や販売手法に関する啓発を目的として、「ふくろい農業未来塾(全5回)」を開催し、延べ116人が参加した。</p> <p>農業生産力の向上や省力化、新商品の開発等のため、水稲や茶等の担い手農家等が行った農業機械の整備等(69件)に対し補助を行った。</p>
26 スポーツ地域活性化事業	<p>◇新しい生活様式に対応したスポーツ振興</p> <p>◇「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 東海道東海道だまん中袋井ラウンド」をエコパで開催し、サイクルスポーツの普及・振興を図る。</p> <p>イベント出展:11月13日(土) さわやかアリーナ(総合体育館) FUKUROI SPORTS DAY 2021 巡回展示:市役所ロビー、さわやかアリーナ(総合体育館)</p> <p>◇解説付きトップラグビー観戦、タグラグビー体験会</p> <p>タグラグビー教室:アザレア・セブンによる指導 12月2日(木)～2月17日(木)全5回 小学生23名が参加した</p> <p>◇クラウンメロマラソン大会補助金 10月17日(日)～10月30日(土) オンライン 566人 12月12日(日) 小笠山総合運動公園エコパ周回コース 1,900人</p>	2,899	2,898	0	1	<p>エコパで日本学生自転車競技連盟に登録した学生及びオープン参加による自転車ロードレース大会の開催を11月28日(日)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。翌年の大会の機運醸成や競技自転車の振興及び地域における競技自転車の普及・啓発を行うため、イベントへの体験ブースの出展や公共施設への巡回展示などによる普及啓発活動を実施した。</p> <p>タグラグビー教室の開催や静岡ブルーレヴズの試合での解説付き観戦事業を行った。また、近隣4市(袋井市、浜松市、磐田市、掛川市)とともに、静岡ブルーレヴズと締結したパートナー協定に基づき、ヤマハスタジアムやエコパスタジアム等で開催されるホストエリア開催試合の情報を市民に発信し観戦奨励を行うとともに、試合会場にて市PRブースの出展を行い市民がラグビーボールに触れる機会、ラグビーを見る機会の提供に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により参加者を静岡県内在住者に限定し、エコパの敷地内の周回コースでのハーフマラソン、10km、1.500m(袋井市内の小中学生限定)とリモートマラソンの2通りで開催した。</p>
27 アイルランドオリンピックチーム受入事業(R3当初含む)	<p>◇市内移動車両借上料</p> <p>◇練習会場借上料</p> <p>◇宿泊施設・練習会場ガードマン派遣手数料</p> <p>◇練習会場送風機設置費用</p>	34,836	24,678	0	10,158	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、東京2020オリンピックにおけるアイルランドオリンピックチームの事前キャンプの受入を行った。葛城北の丸に宿泊し(水泳チームは浜松市内に宿泊)、市内を中心としたスポーツ施設でトレーニングを実施し、選手が万全な状態で大会を迎えられるよう安心安全なキャンプ運営を行い、アイルランドチームからも好評を得た。

事業名	内容・実績	決算額 (千円)	決算額の財源内訳(千円)			事業の成果
			新型コロナ 臨時交付金	その他の特定財源	一般財源	
28 住宅リフォーム助成事業 【第2弾】	新しい生活様式のための住宅のリフォーム工事を、市内の事業者(工務店等)に発注する居住者に対して工事費の一部を助成することで、市民生活の支援及び地域経済対策を行う。 ◇対象者:市内に住居を有し、自ら居住する者 ◇対象工事 ・新しい生活様式への対応に係るリフォーム(間取り変更、換気設備、固定式宅配ボックスの設置等) ・ステイホームに対応したリフォーム(バリアフリー化、省エネルギー化等) ・屋根・外壁の改修(断熱性の向上を伴うもの)※第2弾より追加 ◇補助率 1/3 上限50万円 ◇交付者数:128名 ◇助成合計額:35,307,000円	35,307	26,590	8,717	0	住宅リフォームを行う市民128名へ約3千5百万円を助成した結果、市内の事業者を中心に約1億1千万円の経済循環が図られた。 また、実施後のアンケート結果において、事業の実施について約80%の事業者から地域の経済対策として「非常に効果があった」、「やや効果があった」との回答を得られた。
29 ふくろい産業イノベーションセンター設置事業	◇ふくろい産業イノベーション推進協議会への負担金 本市と静岡理科大学に加え、商工団体、金融機関の産学官金が一体となって「稼ぐチカラ」の高い中小企業の育成支援や新産業の創出を図るため、令和3年4月2日に「ふくろい産業イノベーション推進協議会」を設立し、静岡理科大学内に「ふくろい産業イノベーションセンター」を設置した。	8,000	6,900	0	1,100	企業訪問による技術課題の把握や大学教員の研究をリサーチマップに登録し大学のもつリソース(知見・技術)を整理するとともに、各業界の内容を深掘りした業種別セミナーの開催やイベントを開催するなど、「企業と大学のリソースマッチング」や「企業間の連携促進及び課題の共有」を行う機会の提供などに取り組み、大学と企業との共同研究が5件行われるなど、新たな価値創出につながる基盤づくりを進めることができた。
30 テレワーク環境整備事業	◇コロナ禍においてテレワークや分散勤務を推進するにあたって、チャットサービスを導入し、職員間のコミュニケーションを円滑に行う。 ◇対面が変わり、会議や打ち合わせのオンライン化をテレワークとともに推進し、感染症の拡大防止を図る。	3,785	3,785	0	0	コミュニケーションの円滑化や会議等のオンライン化を図りつつ、テレワークを効果的に推進し、感染症の拡大防止と業務の効率化が図られた。
31 ICT活用環境推進事業 (行政文書デジタル化推進事業)	◇施設図面を電子データ化することで、データの劣化を防止し、データ保存することで業務効率化を図る。 ◇道路や水路の情報をデータ化することで、市への来庁や照会機会の削減を図る。 ◇市の所有しているデータをオープンにすることで申請や来庁機会の削減を図る。	5,872	5,872	0	0	窓口での対応が必要な問い合わせや申請をデジタル化し、かつオープンなデータとすることで、事業者や市民の来庁を減らし接触機会を削減することで感染症の拡大防止と業務の効率化が図られた。 また、紙資料をデータ化することでテレワークや分散勤務を促進し感染症の拡大防止と業務の効率化が図られた。
32 分散勤務推進事業	◇幼稚園・保育所職場環境改善事業 幼稚園・保育所の職員職室を無線化し、職員が分散勤務を行える環境を整備する。 ◇Web会議利用環境整備事業 増加するWeb会議に柔軟に対応するため環境を整備する。Microsoft365利用料 ◇分散勤務推進事業 分散勤務用のPC(20台)を購入し、分散勤務の利用率を向上させる。	34,795	30,042	0	4,753	コミュニケーションの円滑化や会議等のオンライン化を図りつつ、分散勤務を効果的に推進し、感染症の拡大防止と業務の効率化が図られた。
33 スマートシティ推進事業	◇オープンデータ活用推進事業 オープンデータ自動生成システムの構築及び国の推奨データに準拠したデータの公開 ◇EBPM(データに基づく政策立案)推進事業 職員向け勉強会の開催(全3回:27人参加) ◇AIチャットボットサービス活用事業 市ホームページと連動したチャットボットによる案内サービスの利用 ◇暮らしの手続き案内サービス活用事業 行政への必要な手続きの種類や方法などを案内するサービスの利用	5,024	5,024	0	0	コロナ禍において社会のデジタル化が急速に進展する中、地域の新たな産業創出や活性化に向けて、オープンデータをはじめ、データ利活用の機運が高まった。 また、AIチャットボットや手続きガイドを活用したことで、行政の窓口における申請手続きがスムーズにできるようになった。
34 オフィス環境改善事業	◇本庁舎3階北側オフィス環境改善(レイアウト変更)事業 コロナ禍における来庁者の3密回避、職員間のコミュニケーションの促進や多様な働き方を可能とすることで、生産性の向上や住民サービスの向上を図るため、本庁舎3階北側レイアウトの仕様の更新などのオフィス環境改善事業を実施した。 備品購入費 16,166千円	23,833	16,166	0	7,667	部署を超えたコミュニケーション、事務所スペースの有効活用、多様な働き方が可能となり、課題や方針が共有されることによる市民サービスの向上につながった。感染終息後の状況について、社会情勢の変化に即応できる体制を構築した。
35 スマートスクール推進事業	ICT支援員を配置し、子どもや教員のICT活用能力向上の支援、教員の資質向上につながる授業データベースの構築、教員の働き方改革につながる管理マニュアル等の作成を行うなどICT教育の基盤づくりを進める。	37,191	37,190	0	1	新型コロナウイルスの感染拡大により加速した学校におけるICT機器の活用が進み、子どもや教員のICT活用能力が向上した。特に、1人1台配備しているタブレットについて、家庭への持ち帰りを実施し、家庭学習でのICT活用により、授業と家庭学習の連動が進んだ。また、学習アプリを実証的に導入し、個に応じた学びと協働的な学びを意識した授業が推進された。さらには、教員の資質向上につながる授業データベースの構築により教員の働き方改革にもつながった。
合計		414,540	343,211	24,156	47,173	